

「地球環境とマンガ」展～未来の担い手が描く持続可能な世界～ 作品出展者募集要項

1 趣旨

私たちは、この地球を未来の子どもたちから借りています。豊かな地球環境を未来の子どもに返すことができるでしょうか。

地球は気候危機に直面しています。世界の平均気温は、工業化以前と比べ、既に1℃上昇しました。その結果、世界各地で異常気象が起こり、災害が多発し、生態系も大きな影響を受けています。このため、全世界は、「パリ協定」のもと、気温上昇を2℃未満、できれば1.5℃以下に抑えるための取組を進めることとなりました。

ところが、最新の研究では、1.5℃と2℃の上昇では、異常気象などのリスクに大きな違いがあり、1.5℃以下に抑えるためには、2050年頃までにCO2排出量を正味ゼロにする必要があることが示されています。

2050年頃までのCO2排出量正味ゼロへの道のりは、とても厳しく、これまでの延長線上にとどまらない、大きな変革が必要となります。しかし、京都議定書誕生の地・京都市は、「覚悟」をもって、その目標に挑まなければならないと考えています。

「地球環境とマンガ」展は、身近で、親しみやすいマンガを通じて、より多くの方に地球環境について考えていただくことを目的として開催しております。第3回目となる今年度は、未来の担い手である大学生、大学院生に、地球温暖化をはじめとする環境問題を自分ごととして捉え、考え、マンガ作品を制作していただくとともに、そのマンガ作品の展示を通じて、より多くの方に環境の大切さを伝えていければと考えております。

2 応募資格

次の全ての要件を満たす方

- (1) 令和元年9月19日から令和2年3月15日までの間、大学生又は大学院生であること
(大学・学部・学科・専攻は問わない)
- (2) 令和元年10月21日(月)のワークショップに参加できること
- (3) 令和元年11月30日(土)までに、作品を完成させ、提出を完了できること
- (4) 令和2年1月20日(月)(予定)の合評会に参加し、自身の作品を発表できること

3 募集人数

30名(先着順、定員に達し次第締め切らせていただきます。)

4 応募期間

令和元年9月19日(木)から同年10月15日(火)まで

5 応募方法

京都国際マンガミュージアムホームページの応募フォームから御応募ください。

https://www.kyotomm.jp/event/eve_kankyomanga2019/

6 ワークショップについて

(1) 日時

令和元年10月21日(日) 午後2時から4時30分

(2) 場所

京都国際マンガミュージアム2階 ギャラリー6 (予定)

(3) 内容

講義及び実作ワークショップ(講師:高月紘(ハイムーン)氏, 榊原太郎氏)

7 作品の制作について

作品についてはカートゥーンを想定しております。制作する作品についての規格等については、ワークショップ内でお知らせしますが、予定しているものは次のとおりです。

(1) 作品サイズ

B4(257mm×364mm) ※ タテ・ヨコ自由

デジタル作品の場合は、形式はjpgかpng、画像解像度は350dpiとします。

(2) 作品テーマ

地球環境に関するもので、次のいずれかを取り扱うもの

- ・ 地球温暖化
- ・ SDGs
- ・ 2050年の世界

(3) 解説

作品それぞれに、100字から300字程度の解説文を添付ください。

(4) 提出期限

11月30日(土) 必着

8 作品の審査及び展示について

御提出いただいた作品の中から、厳正な審査を基に展示作品を決定し、令和2年1月19日から3月15日(予定)まで、京都国際マンガミュージアム2階ギャラリー3で開催する「地球環境とマンガ」展において展示します(審査の結果、京都国際マンガミュージアムでの展示にすぐわないと判断された作品は、展示を見合わせますので、予め御了承ください。)

なお、著作権は原則制作者のものとなりますが、

- ・ その発表のために必要な利用(複製 展示 放映, 記事 掲載等)をすること
- ・ 主催者が本事業を広報するための印刷物やホームページ等に利用すること
- ・ 主催者が本事業の記録として保存するために複製することについて

についてご了承ください。また、広報の際に 発表 作品を要約したり翻訳したりする場合がありますが、そのことについてもご了承ください。

御提出いただいた作品は「地球環境とマンガ」展終了後、お返しします。

9 合評会について

(1) 日時

令和2年1月20日(月) ※ 時間は未定

(2) 会場

京都国際マンガミュージアム ※ 部屋は未定

(3) 内容

作成していただいた作品について簡単なプレゼンテーションを行っていただきます。

(4) 賞

優秀な作品の制作者に対して、賞を授与します（複数の賞を予定）。

※ 別途表彰式を2月中旬から下旬に実施する予定としていますので、受賞者は可能な限り出席してください。